

STAX driver unit for earspeaker/adaptor

SRD-6 ¥6,000



●イヤースピーカーを一般のステレオアンプにつなぐ時必要になるのが、アダプターSRD-6又はSRD-7、いずれも、イヤースピーカーに必要な信号電圧を取り出すマッチング・トランス（左右1対）と、そのプッシュプル電極にバイアス電圧を供給する電源部からできています。

ふつうの用途にはSRD-6で充分ですが、特にSR-X/MK3のような高忠実度イヤースピーカーには、高性能トランスを使ったSRD-7が適しています。アダプターは非常に低歪に設計されているので、アンプ（メインアンプ）の質が良いほど忠実度の高い再生が可能となります。

●連続最大入力：8W（1kHz） ●瞬間最大入力：30W（1kHz） ●周波数特性：10~30,000Hz（±2.0dB）（SRD-6）、10~30,000Hz（±1.2dB）（SRD-7） ●歪率：0.2%以下（50Hz/1W）（SRD-6）、0.05%（50Hz/1W）（SRD-7） ●成極用電源：AC100~240V/50~60Hz ●消費電力：0.1W ●寸法（W×H×D）：90×66×194（SRD-6）、73×120×215（SRD-7） ●重量：1.2kg（SRD-6）、1.7kg（SRD-7）

SRM-1/MK-2

¥47,000

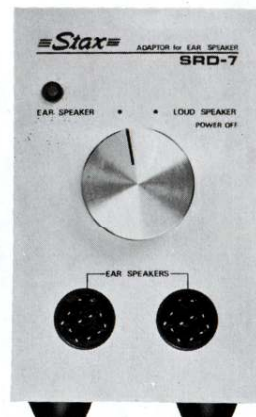


●連続最大入力：8W（1kHz） ●瞬間最大入力：30W（1kHz） ●周波数特性：10~3,000Hz（±2.0dB） ●歪率：0.2%以下（50Hz/1W） ●寸法（W×H×D）：90×66×194 ●重量：1.2kg

●スタックスのイヤースピーカーをダイレクトにドライブするドライバーユニットSRM-1がさらに充実してMK-2となりました。FETと高耐圧トランジスターを使用したシンプルな2段構成アンプ部は完全DC化され、音質上このまじくはないカップリング・コンデンサーを排除しています。もちろん、アダプターを介せずイヤースピーカーをダイレクトにドライブしますから情報量の多い自然な音質を再現します。アンプの録音端子またはプリアウト端子に接続しますと、オーディオ・システム全体の音質チェックなどのリファレンス用としても威力を発揮します。

●周波数特性：DC~20kHz/±1dB以内 ●増幅度：60dB ●入力インピーダンス：50kΩ ●入力レベル：100mV ●電源電圧：AC100V、±10% ●50~60Hz ●消費電力：33W ●寸法：150(W)×87(H)×370(D)mm ●重量：2.0kg

SRD-7 ¥9,000



SRD-6SB ¥7,500



●コンデンサー型イヤースピーカー用アダプターには成極（バイアス）電圧を供給するためのAC電源が不可欠ですが、SRD-6SBは信号電圧からバイアス電圧を得るセルフ・バイアス方式の採用によりAC電源を必要としません。この結果、ACコードに制限されることなく自由にセッティングでき、カー・オーディオをイヤースピーカーで楽しむこともできます。シグナル・トランスにはSRD-6と同様の良質なものが使用されていますからアンプからの信号をそのままイヤースピーカーに伝えます。

SRD-X ¥14,000



●コンデンサーイヤースピーカーがより使いやすくなりました。SRD-Xの登場です。これまでのコンデンサーヘッドフォンはスタックスのものに限らず音質は確かに良いものの、接続等の使い勝手の面で若干不利な点がありました。しかしSRD-Xにより、ダイナミック型ヘッドフォンのようにプリアンプやステレオラジカセ等にある一般のヘッドフォンジャックにプラグを差し込むだけで音質の良いイヤースピーカーが使えるようになったのです。その上、SRD-Xは乾電池でも使える交直両用方式ですから、屋外でのSRシリーズの使用が可能となりました。

●周波数特性：20~20kHz（0~2dB以内/100V出力時） ●入力感度：100mV（100V出力時） ●ゲイン：60dB ●歪率：0.03%以下（1kHz/100V出力時） ●消費電力：1.2W（DC） ●外形寸法：60(W)×100(H)×195(D)mm ●重量800g（電池含まず、本体のみ） ●使用乾電池：単2（SUM、またはAM-2）8個